

# 令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	精神保健福祉対策の推進				予算施策コード	hf14	
担当部局名	保健福祉部	健康衛生局	健康増進課	評価責任者	課長 丹 純一	連絡先	2400

## 1 施策の内容

施策の目標	<p>県民が心の健康について関心を持ち、心の健康を保つように努める。 また、心の健康を害した場合には、適切な医療と福祉が受けられる。</p>
-------	--

これまでの取り組み	<p>県民が心の健康に関心を持ち、早期発見、早期治療ができるように、心の健康づくりに関する知識の普及・啓発を図るほか、保健所や心と体の健康センターに各種相談窓口を設置し相談に応じ、適切な医療機関への紹介や受診援助を行う等、県民の精神的健康の保持・増進を図っている。 また、訪問指導を実施し、精神障害者の自立、地域生活のサポートを図っている。 このほか、精神障害者の適切な医療を確保するため、通院医療費の助成や、精神障害者による自傷他害行為に至る状況を回避するための措置入院等を実施しており、平成13年度からは、休日や夜間における緊急な医療を必要とする精神障害者の医療確保のために、精神科救急医療を中予地区において実施している。 社会状況や少子高齢化など様々な原因から、近年は心のケアが必要な人が増加しており、平成30年3月に策定された第7次愛媛県地域保健医療計画では、精神疾患を5大疾病のひとつとして位置づけ、身近な疾患の一層の理解促進を図るとともに、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めることとしている。</p>
-----------	--

### 成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	人口10万人当たり入院患者の数	B	受療患者における通院患者の割合	
選択理由	精神保健福祉施策は、「入院医療中心から地域生活中心へ」改革を進めており、精神障害者の入院患者数を減らすことは、地域生活中心への変更を図る尺度となる。	選択理由	精神病患者数に占める通院患者数を見ることにより、精神病患者が、住み慣れた地域で、安心して暮らせる体制の充実度を反映することができる。	
算定方法	入院患者数/県内人口(10万人単位) (計画は、平成29年6月30日現在の全国平均)	算定方法	通院患者数/(入院患者数+通院患者数)×100 (計画は、平成29年6月30日現在の全国平均)	
成果と指標の関係	中	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	
	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラスマイナス)	-
	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラスマイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	人		%	%		%	千円					
2年度	238	244	97.5%	93	89	95.7%	2,805,572	1,372,188	47,574	1,385,810	2,451,248	255,760
3年度	238	257	92.6%	93	89	95.7%	3,096,715	1,504,384	63,471	1,528,860	2,771,401	228,690
4年度	238	253	94.1%	93	89	95.7%	3,129,399	1,508,707	50,289	1,570,403	2,935,746	208,993

## 2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	精神保健福祉法により都道府県の事務とされている。 また、近年の社会経済状況の変化に伴い、うつ病等の精神疾患を有する患者が増えており、く大きな社会問題となっている。さらに、家族にも配慮する必要があることから、適正な医療を確保する必要があり、県の関与は必要である。						
高い									
成果指標A		説明	今後、より一層の相談支援を進めていくとともに、早期に退院を実現できる体制を整備する必要がある。						
成果動向	横這い								
成果向上余地	成果向上が可能								
成果指標B		説明	精神障がい者は、治療の必要性についての理解が十分でないことなどにより、自ら進んで適切に受診することが困難な場合が多いことから、普及啓発を引き続き実施することが必要である。						
成果動向	横這い								
成果向上余地	成果向上が可能								
参考：構成事務事業の評価の平均値		成果動向	2.20	順調・向上		成果向上余地	1.58	成果向上が可能	

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

予算施策名

h f 14 精神保健福祉対策の推進

1 精神障害者医療費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい					
指標種類1	指標名称1			単位	計画	14	14	14		予算	事業費計	2,635,704	2,914,059	2,899,302	2,831,793	評価	法律により県が公費負担することになっている。制度利用者は増加傾向にあり、成果動向は微増が続くと思われる。	方向1	このまま継続				
活動	+	ストック	ひと月あたり措置入院患者数	人	実績	5	8	8			国費	1,293,405	1,431,742	1,423,462	1,387,986				見直し 方向性	方向2			
					達成率	35.71%	57.14%	57.14%			その他										方向3		
指標種類2	指標名称2			単位	計画	25014	25014	25014			県費	1,342,299	1,482,317	1,475,840	1,443,807								
活動	+	ストック	通院医療費公費負担承認者数	人	実績	27615	26315	26792			事業費計	2,309,345	2,635,268	2,727,829									
					達成率	110.40%	105.20%	107.11%			国費	1,274,026	1,300,771	1,361,425									
指標種類3	指標名称3			単位	計画	300530	300530	398045		その他													
成果	+	ストック	公費負担制度利用件数	件	実績	395700	418218	446097		県費	1,035,319	1,334,497	1,366,404										
					達成率	131.67%	139.16%	112.07%		人役	5.5	5.5	5.5										
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人件費	37,213	33,275	32,841										
	S25	予定・見込 があれば記入	精神障害者の医療費負担軽減を図るため、精神保健福祉法第29条に基づく措置入院患者の医療費及び移送費と障害者総合支援法第58条に基づく自立支援医療費の公費負担を行う。																				

2 自殺対策強化事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい					
指標種類1	指標名称1			単位	計画	1600	1600	1600		予算	事業費計	16,472	19,703	22,581	24,048	評価	自殺者数が増加傾向にあることから、引き続き県、市町等の地域の実情に合わせた地域自殺対策を実施する必要がある。	方向1	このまま継続				
活動	+	フロー	心のダイヤル相談件数	件	実績	1538	1631	1561			国費	14,549	13,749	16,067	21,040				見直し 方向性	方向2			
					達成率	96.13%	101.94%	97.56%			その他										方向3		
指標種類2	指標名称2			単位	計画	285	285	285			県費	1,923	5,954	6,514	3,008								
活動	-	フロー	自殺者数(警察庁統計)	人	実績	236	228	277			事業費計	14,126	15,777	17,676									
					達成率	120.76%	125.00%	102.89%			国費	7,063	15,580	15,619									
指標種類3	指標名称3			単位	計画	18	18	18		その他													
活動	-	フロー	自殺死亡率(警察庁統計)	口10万	実績	17.6	17.1	21		県費	7,063	197	2,057										
					達成率	102.27%	105.26%	85.71%		人役	1.7	1.7	1.7										
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人件費	11,503	10,285	10,151										
	H21	予定・見込 があれば記入	年間200人をこえる方が自ら命を絶っており、誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現に向けて、地域における自殺対策の強化を図るための取組みを県が自ら実施し、又は、市町・民間団体等の取組みに対して支援する。																				

3 自殺相談対策連携強化事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	5成果向上している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
指標種類1	指標名称1			単位	計画	100	100	3000		予算	事業費計	10,418	20,099	25,274	21,954	評価	令和3年3月から電話相談窓口をフリーダイヤル化したことから、利便性が向上し、相談件数が増加している。	方向1	このまま継続				
活動	+	フロー	県委託事業者による電話相談件数	件	実績	323	3027	4796			国費	6,334	18,071	25,274	16,465				見直し 方向性	方向2			
					達成率	323.00%	3027.00%	159.87%			その他										方向3		
指標種類2	指標名称2			単位	計画	4	4	4			県費	4,084	2,028		5,489								
活動	+	フロー	自殺対策を行う県内民間団体への事業委託件数	件	実績	4	3	1			事業費計	10,975	19,265	24,413									
					達成率	100.00%	75.00%	25.00%			国費	5,487	16,668	24,923									
指標種類3	指標名称3			単位	計画	150	150	500		その他													
活動	+	フロー	県委託事業者によるSNS相談件数	件	実績	90	1137	2336		県費	5,488	2,597	-510										
					達成率	60.00%	758.00%	467.20%		人役	1.2	1.2	1.2										
実施 期間	始期	終期	事業の概要							人件費	8,120	7,260	7,166										
	R元	予定・見込 があれば記入	自殺電話相談窓口の24時間化を図り、切れ目のない相談体制を実現するとともに、人材養成等を民間団体に委託し、将来的には県内民間団体による24時間365日の相談体制を目指す。																				

4 精神科救急医療システム整備費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり	
指標種類1	指標名称1			計画	2	2	2			予算	事業費計	40,044	39,318	39,325	39,294	評価	精神科救急医療体制は、中予圏域のみ時間限定での実施にとどまっていたが、令和4年度から、新たに南予地域において24時間の精神科救急医療システムが運用開始となったことから、一定の成果向上の余地がある。		
活動 + 70-	中予地域精神科救急医療情報センターの常置人員数	人	実績	2	2	2	国費				20,022	19,659	19,662	19,647					
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他												
			計画	7	7	9	事業費計				24,508	23,839	38,897						
活動 + 70-	精神科救急医療施設数	箇所	実績	7	7	9	国費				14,011	8,815	18,777						
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他												
指標種類2	指標名称2	単位	計画	200	200	230	事業費計			24,508	23,839	38,897							
			実績	283	361	431	国費			10,497	15,024	20,120							
			達成率	141.50%	180.50%	187.39%	その他												
指標種類3	指標名称3	単位	計画	200	200	230	国費			10,497	15,024	20,120							
			実績	283	361	431	県費												
			達成率	141.50%	180.50%	187.39%	人役			2.4	2.4	2.4							
成果 + 70-	救急相談件数	件	計画	200	200	230	人件費	16,239	14,520	14,331									
			実績	283	361	431													
実施 期間	始期	終期	事業の概要							見直し 方向性	方向1	このまま継続							
	H13	予定・見込 があれば記入	緊急に精神科診療が必要となった障害者に対し、適切で迅速な医療を提供するために、救急対応の必要が高い中予地域において、精神科救急医療情報センターを整備するとともに、精神科救急医療施設の運営を委託し、精神科救急医療システムの実施体制を整備する。									方向2							

5 二次救急精神科医療支援体制整備事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	1成果向上余地が小 さい	
指標種類1	指標名称1			計画	14	14	14			予算	事業費計	45,283	44,501	44,463	44,442	評価	精神科救急医療体制の整備は県の責務でもあり、関連施策として積極的に推進する必要がある。しかしながら、ここ数年相談件数は減少傾向にあることから、受入基準の見直しを含めた今後の運用について、運営委員会において関係機関と協議していく必要がある。		
活動 + ストック	二次救急医療機関数	箇所	実績	14	14	14	国費												
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他				45,283	44,501	44,463	44,442					
			計画	7	7	7	事業費計				43,729	43,781	43,882						
活動 + ストック	精神科医療機関数	箇所	実績	7	7	7	国費												
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他				43,779	43,781	43,882						
指標種類2	指標名称2	単位	計画	48	48	30	事業費計			43,729	43,781	43,882							
			実績	10	5	9	国費												
			達成率	20.83%	10.42%	30.00%	その他			-50									
指標種類3	指標名称3	単位	計画	48	48	30	国費			0.3	0.3	0.3							
			実績	10	5	9	人件費			2,030	1,815	1,792							
			達成率	20.83%	10.42%	30.00%													
成果 + 70-	二次救急精神科医療支援情報センターへの相談件数	件	計画	48	48	30													
			実績	10	5	9													
実施 期間	始期	終期	事業の概要							見直し 方向性	方向1	このまま継続							
	H29	予定・見込 があれば記入	精神科救急対応時間外に、身体科救急医療機関へ搬送された患者の中に精神科疾患を併せ持つ患者が含まれる場合に、救急医療機関では、身体疾患治療後の対応に苦慮し疲弊しているため、精神科医療機関がバックアップする体制を構築するための事業									方向2							

6 ひきこもり支援推進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地		
指標種類1	指標名称1			計画	60	60	60			予算	事業費計	7,695	7,481	10,560	7,927	評価	第一次相談窓口は広域であり、県内のネットワーク形成を目的としていることから、県が実施すべきものであり、相談件数からその役割は果たしている。また、個々の支援については、市町も含め検討していく。		
活動 + 70-	ひきこもり相談室での新規電話相談件数	件	実績	51	84	97	国費				3,847	3,740	8,180	4,750					
			達成率	85.00%	140.00%	161.67%	その他												
			計画	300	300	300	事業費計				6,384	6,542	8,969						
活動 + 70-	保健所での相談件数 (電話+来所+訪問)	件	実績	436	369	270	国費				3,192	3,740	7,557						
			達成率	145.33%	123.00%	90.00%	その他					17							
指標種類2	指標名称2	単位	計画	600	600	600	事業費計			6,384	6,542	8,969							
			実績	463	483	513	国費			3,192	2,785	1,412							
			達成率	77.17%	80.50%	85.50%	県費			3,192	2,785	1,412							
指標種類3	指標名称3	単位	計画	600	600	600	人役			4	4	4							
			実績	463	483	513	人件費			27,064	24,200	23,884							
			達成率	77.17%	80.50%	85.50%													
成果 + 70-	ひきこもり相談室での相談延べ件数	件	計画	600	600	600													
			実績	463	483	513													
実施 期間	始期	終期	事業の概要							見直し 方向性	方向1	このまま継続							
	H23	予定・見込 があれば記入	ひきこもりの原因はさまざまであり、第一次相談窓口として「ひきこもり相談室」を設け、対象者を適切な関係機関につなげる体制を整備するほか、関係機関によるネットワークを形成するとともに、支援者研修や普及啓発を行う。									方向2							

7 DPAT体制整備事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
指標種類1	指標名称1			単位	計画	2	2	2		予算	事業費計	4,520	6,123	6,243	5,258	評価	平成28年度熊本地震、平成30年度7月豪雨、令和2年新型コロナウイルス感染症クラスターにDPATを派遣し、被災者・支援者支援など、総合的な心のケア対策を推進している。また、訓練や研修など、災害発生に備えた体制強化を図っている。					
活動	+	70-	運営委員会の開催回数	件	実績	0	0	0	国費		2,260	2,492	2,487	2,924								
					達成率	0.00%	0.00%	0.00%	その他													
指標種類2	指標名称2			単位	計画	150	150	150		決算	事業費計	2,242	3,587	4,196	見直し 方向性					方向1	このまま継続	
活動	+	70-	研修会の参加者数	件	実績	96	53	54	国費		1,121	2,492	2,632	方向2								
					達成率	64.00%	35.33%	36.00%	その他			76		方向3								
指標種類3	指標名称3			単位	計画	6	6	6		県費	1,121	1,019	1,564									
活動	+	70-	DPAT登録チーム数	件	実績	6	6	6	人役	0.9	0.9	0.9										
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%	人件費	6,090	5,445	5,374										
実施 期間	始期	終期	事業の概要																			
	H25	予定・見込 があれば記入	地震・風水害などの自然災害、犯罪被害、事故等の緊急時においても、専門的な心のケアに関する対応が円滑に行われるよう、県内に緊急支援チームを整備すること等により、日常的な相談体制の強化、及び事故・災害等発生時の緊急支援体制の強化を図る。																			

8 依存症対策地域連携強化事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地					
指標種類1	指標名称1			単位	計画	2	2	2		予算	事業費計	4,336	3,861	3,861	3,710	評価	アルコール、薬物及びギャンブルの大きな三つの依存症に対する推進計画が策定されていることから、具体的な施策展開に向けた事業執行が求められている。今後は、各計画に掲げた目標の達成状況を踏まえて、計画の改定を行っていく必要がある。					
活動	+	70-	委員会の開催回数	回	実績	0	0	2	国費		2,168	1,930	1,930	1,855								
					達成率	0.00%	0.00%	100.00%	その他													
指標種類2	指標名称2			単位	計画	300	300	300		決算	事業費計	3,484	1,874	3,206	見直し 方向性					方向1	このまま継続	
活動	+	70-	研修会の参加者数	人	実績	239	382	544	国費		3,643	2,798	1,870	方向2								
					達成率	79.67%	127.33%	181.33%	その他					方向3								
指標種類3	指標名称3			単位	計画	1500	1500	1500		県費	-159	-924	1,336									
成果	+	70-	依存症関連の相談者数	人	実績	975	896	797	人役	1.9	1.9	1.9										
					達成率	65.00%	59.73%	53.13%	人件費	12,856	11,495	11,345										
実施 期間	始期	終期	事業の概要																			
	H30	予定・見込 があれば記入	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症は、患者に必要な支援が十分でない状況にある。県が策定した各依存症の対策推進計画では、関係機関が連携し、その役割に応じた支援を提供することとしており、依存症患者等が安心して暮らせる支援体制の構築を図る。																			

9 高次脳機能障害支援普及事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり				
指標種類1	指標名称1			単位	計画	7	7	7		予算	事業費計	4,870	4,770	4,785	4,316	評価	平成25年度以降、支援拠点機関の専属コーディネーター体制の確立等により相談件数が急増した。近年は、保健所毎に相談事例への地域支援の検討連絡会の開催のほか、研修会の開催、家族と当事者の集いの開催などにより、一層の連携強化を図っている。					
活動	+	ストック	支援拠点機関及び相談支援協力機関の設置数	箇所	実績	7	7	7	国費		2,435	2,385	2,392	2,158								
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他													
指標種類2	指標名称2			単位	計画	3000	3000	3000		決算	事業費計	3,479	3,391	3,376	見直し 方向性					方向1	このまま継続	
成果	+	ストック	支援拠点機関及び相談協力機関相談延べ件数	件	実績	5826	6894	5205	国費		2,435	2,385	1,688	方向2								
					達成率	194.20%	229.80%	173.50%	その他					方向3								
指標種類3	指標名称3			単位	計画	180	180	100		県費	1,044	1,006	1,688									
成果	+	ストック	保健所及び心と体の健康センター相談延べ件数	件	実績	87	103	127	人役	1.5	1.5	1.5										
					達成率	48.33%	57.22%	127.00%	人件費	10,149	9,075	8,957										
実施 期間	始期	終期	事業の概要																			
	H20	予定・見込 があれば記入	交通事故等により脳が損傷し、記憶障害、遂行機能障害等を呈する高次脳機能障害者に対し、国は高次脳機能障害支援普及事業を創設し、県の必須事業としている。本県でも3千人以上いると推計されており、支援体制を整備し、継続的な支援を行う必要がある。																			

10 心と体の健康センター運営費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	50	50	50		予算	事業費計	3,275	3,158	3,165	3,117	評価	心と体の健康センターは法に基づき県が設置する施設であり、精神保健に関する専門研究機関として、保健所のほか市町等に助言指導等を担い、また多様化するニーズに対応し各種事業を実施し、本県の精神保健福祉の向上に寄与している。							
活動	+	70-	技術指導及び技術援助件数	件	実績	71	115	132			国費	235	247	243	252									
					達成率	142.00%	230.00%	264.00%			その他	2,291	2,163	2,039	1,868									
					計画	700	700	700			県費	749	748	883	997									
指標種類2	指標名称2			単位	計画	700	700	700			決算	事業費計	2,465	2,251	2,566					見直し 方向性	方向1	このまま継続		
活動	+	70-	診療延件数	件	実績	299	349	314				国費	209	248	243							方向2		
					達成率	42.71%	49.86%	44.86%		その他		587	641	621	方向3									
					計画	2300	2300	2300		県費		1,669	1,362	1,702										
指標種類3	指標名称3			単位	計画	2300	2300	2300		人役		7.4	7.4	7.4										
成果	+	70-	精神保健相談延件数	件	実績	2877	3755	2846		人件費		50,069	44,770	44,186										
					達成率	125.09%	163.26%	123.74%																
					計画	2300	2300	2300																
実施 期間	始期	終期	事業の概要																					
S47	予定・見込 があれば記入		精神保健福祉法の規定に基づき、精神保健福祉に関する知識の普及を図るとともに、保健所等関係機関に対する研修及び精神保健の相談、指導、診察並びに調査研究等、精神保健福祉センター運営要領に定められている業務を行う。																					

11 精神保健事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	1400	1400	1400		予算	事業費計	2,315	2,909	5,045	4,999	評価	保健所訪問指導事業、普及啓発事業、心と体の健康センターの相談事業等はいずれも法定の義務規定である。ストレス社会にあって、新型コロナの影響も加わり、精神的に追い込まれる人が増加傾向にあることから、今後も事業の継続が必要である。							
活動	+	70-	保健所による在宅精神障害者 訪問指導件数	件	実績	1613	1503	1437			国費	150	150	162	162									
					達成率	115.21%	107.36%	102.64%			その他													
					計画	1500	1500	1500			県費	2,165	2,759	4,883	4,837									
指標種類2	指標名称2			単位	計画	1500	1500	1500			決算	事業費計	1,570	2,717	3,974					見直し 方向性	方向1	このまま継続		
活動	+	70-	こころのダイヤル相談件数	件	実績	1538	1631	1561				国費	0	0								方向2		
					達成率	102.53%	108.73%	104.07%		その他					方向3									
					計画	2300	2300	3000		県費		1,570	2,717	3,974										
指標種類3	指標名称3			単位	計画	2300	2300	3000		人役		7.3	7.3	7.3										
成果	+	70-	心と体の健康センター相談件 数	件	実績	3377	4195	3273		人件費		49,392	44,165	43,589										
					達成率	146.83%	182.39%	109.10%																
					計画	2300	2300	3000																
実施 期間	始期	終期	事業の概要																					
S40	予定・見込 があれば記入		在宅精神障害者や老人性認知症患者に対する家庭訪問や相談により、早期治療や社会復帰、在宅介護支援を実施するとともに、精神障害や心の健康について、広く一般に普及啓発することにより、地域におけるケア体制を整備し、社会復帰・社会参加を促進する。																					

12 新型コロナウイルス感染症こころのケア体制整備事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	1成果向上余 地が小さい						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	330	330	500		予算	事業費計	24,625	8,857	8,848	0	評価	電話相談窓口の設置により、コロナ禍によって不安やストレス等を感じる方に対して、心理的負担の軽減を図ることができた。							
活動	+	70-	県委託事業者による相談件数	件	実績	358	829	759			国費	24,625	8,848	8,848										
					達成率	108.48%	251.21%	151.80%			その他													
					計画						県費		9											
指標種類2	指標名称2			単位	計画						決算	事業費計	24,612	8,851	8,340					見直し 方向性	方向1	休止・廃止		
					実績							国費	24,612	8,842	8,717							方向2		
					達成率	-	-	-		その他					方向3									
					計画					県費			9	-377										
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役			0	0.1										
					実績					人件費				598										
					達成率	-	-	-																
					計画																			
実施 期間	始期	終期	事業の概要																					
R2		R4	新型コロナウイルス感染症への対応の長期化しており、感染者やその家族、支援者には見通しの立たない不安感や風評被害や誹謗中傷によるストレスなど心理的に大きな負担が生じており、電話相談窓口を開設し、こころのケア体制の一層の整備を図る。																					

